

岡山県人口ビジョン素案 -概要-

人口ビジョンは、本県における人口の現状を分析し、それを踏まえて本県が目指すべき将来の方向を提示し、「おかやま創生総合戦略」に基づく取組が、より実効性のある形で展開できることを目的として策定するもの。

I 岡山県の人口の現状と分析

◎本県の人口は平成 17 年の約 196 万人をピークに減少

主な要因

- ・ 出生数の減少による自然減
- ・ 若い世代を中心とした東京圏への転出超過

人口減少が進行した場合の深刻な影響

- ・ 旧 78 市町村の庁舎所在地から遠い地域ほど大きな人口減少となり、特に中山間地域においては、人口空白地帯が多数生じる。
- ・ 経済・雇用や社会保障制度への深刻な影響はもとより、中山間地域において集落の消滅や地域の衰退が進むことが懸念され、やがては岡山市や倉敷市などの都市部へも波及する可能性がある。

II 人口の将来展望

目指すべき将来の方向

- ① 若い世代の結婚・出産・子育てに関する希望を実現する。
- ② 県内での就職や本県への移住・定住に関する希望がかなえられ、県民が安心して住み続けられる魅力ある岡山県とする。
- ③ 中山間地域等にあっても、拠点的地域において生活機能を確保し、地域活力を維持する。



人口の将来展望

- ① 合計特殊出生率が向上し、自然減少に歯止めがかかる。
- ② 県外転出者が減少するとともに、東京圏等からの転入者が増加し、5 年後に社会増に転じる。
- ③ 県南都市部への過度な人口移動が抑制され、将来にわたって、少なくとも各市町村の拠点的地域において、ある程度の人口規模が確保される。

